

## よこはま動物園ズーラシア

# アカアシドゥクラングールの「ラー」が死亡しました



「ラー」

よこはま動物園で飼育していたアカアシドゥクラングールの「ラー」が死亡しましたので、お知らせします。

### ○アカアシドゥクラングール「ラー」

- (1) 性 別 オス
- (2) 出 生 日 平成7年12月22日 (28歳)
- (3) 死亡日時 令和6年12月13日 (金) 午前8時30分死亡確認
- (4) 死 因 老衰
- (5) 経 過 令和6年11月19日ごろより後肢の衰えが見えはじめ、12月に入ってから終日寝室内で過ごしていました。食欲はあるものの、徐々に採餌量が減り、12月13日の朝、死亡しているのを確認しました。

### ●ラーのプロフィール

平成10年8月6日に、タイのドゥシット動物園から来園しました。メスの「ワニ」との間にたくさんの子どもが生まれ、優しく頼もしい群れの父親としてメスや子どもたちから好かれていました。ズーラシア開園当初から展示場で多くのお客様にアカアシドゥクラングールの魅力を魅せ続けてくれました。



指定管理者：(公財)横浜市緑の協会

お問合せ先

よこはま動物園 副園長 久保 良法 Tel 045-959-1298

【参考資料】

■アカアシドゥクラングールについて

和名	アカアシドゥクラングール
英名	Red-shanked Douc Langur
学名	<i>Pygathrix nemaeus</i>
分類	霊長目 オナガザル科
分布	ベトナム、ラオス、カンボジア
生態	熱帯雨林およびモンスーン林に 10 頭程の群れで生活しています。リーフイーター（葉喰いザル）の仲間で、木の葉や果物などを主食としています。以前は、南方に分布している脚の黒いクロアシドゥクラングールや灰色のハイイロドゥクラングールとともに亜種とされていましたが、現在では独立した種となりました。ベトナム戦争の時に、米軍によって散布された枯葉剤によって生息地の大半を失って数が激減したと言われており、生存が極めて危険な状態にあります。
ワシントン条約 (CITES)	附属書 I：絶滅のおそれのある種で取引による影響を受けている又は受けるおそれのあるもの
国際自然保護連合 (IUCN) レッドリスト	絶滅危惧種 IA 類 (CR)：ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
当園飼育頭数	8 頭（オス 2 頭、メス 6 頭） ※今回死亡した個体含まず
国内飼育園館	2 園館 10 頭（オス 3 頭、メス 7 頭） ※令和 6 年 12 月 14 日現在

■よこはま動物園ズーラシアについて

- ◆入園料：大人 800 円、中人・高校生 300 円、小・中学生 200 円、小学生未満無料  
毎週土曜日は高校生以下無料（要学生証等）  
よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18 歳以上 2,000 円
- ◆開園時間：9:30～16:30（入園は 16:00 まで）
- ◆休園日：毎週火曜日（祝・休日の場合は開園し、翌日休園）12/29～1/1
- ◆交通：相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 15 分、JR 横浜線・横浜市営地下鉄「中山」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 18 分、「横浜」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 1 時間
- ◆URL：<https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>
- ◆住所：横浜市旭区上白根町 1175-1
- ◆問合せ先：045-959-1000